

- 将来像の実現に向けた、当面(2020年まで)・今後(30~40年後)の課題整理
- 有識者検討会を複数回開催、県・市町村と連携し、夏頃までに将来像を提言として取りまとめ
 - 【第1回】平成26年12月23日：検討の視点(討議)、福島県や6町村の復興計画(報告)、イノベーション・コスト構想(報告)
 - 【第2回】平成27年 2月 1日：6市町村の復興計画(報告)、廃炉プロセスの現状(報告)、除染・中間貯蔵施設の現状(報告)
- 地域再生のモデルとなるような総合的な対策で、賑わいを取り戻す

将来像の検討のイメージ

<当面の課題>

「早期に暮らせるように するための方策」

既存計画や人口・線量見通しを整理し、早期復興可能な地域における広域的課題を抽出、検討

2020年の
具体的なビジョン

(課題解決のための施策のイメージ)

- 広域インフラ整備、集約(道路、鉄道、物流等)
- 産業振興(廃炉、ロボット、再生エネルギー等に加え、1次産業や、地域の強みを活かした新産業等)
- 健康・医療(病院拠点、人材確保等)
- 住環境整備(コンパクトシティ、「二点居住」の考え方等)
- 教育、人材育成(出口まで見据えた教育体制・方針)
- 観光(新観光資源・ルートの開発、PR)

<今後の課題>

「子や孫の世代に 繋ぐための方策」

現状では帰還困難な地域を含め、将来に繋ぐために継続実施すべき課題を整理、検討

30~40年後の
将来コンセプト

「今後の生活の希望 となる将来像」

今後の人口動態、産業構造を踏まえた、将来的な自立に向けた地域経済・社会形成のための夢のある将来像

- 住居・生活・コミュニティ
- 産業・雇用
- 教育・文化
- 行政サービス 等

「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会」委員

(座長)

大西 隆 豊橋技術科学大学学長
(都市工学、日本学術会議会長、東日本大震災復興構想会議委員)

(座長代理)

家田 仁 東京大学・政策研究大学院大学 教授(交通・都市・国土学)

内堀 雅雄 福島県知事

大山 健太郎 アイリスオーヤマ(株)代表取締役社長
(仙台経済同友会代表幹事、復興推進委員会委員)

高島 宏平 オイシックス(株)代表取締役社長
(「新しい東北」官民連携推進協議会会員)

中村 良平 岡山大学大学院教授・経済学部副学部長
(地域公共政策、日本経済研究所理事、経済産業研究所ファカルティフェロー)

松永 桂子 大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授(地域産業論・地域社会経済)

山名 元 京都大学原子炉実験所教授(原子力損害賠償・廃炉等支援機構副理事長)